

セアカゴケグモにご注意ください！



《セアカゴケグモ》

- 黒い体に赤い模様を持つのがメス（成体）で体長7～10ミリ。
- 白っぽいのはオスで、体長は4～5ミリ。

人に向かうことはありませんが、触るとかむことがあります。

メスにかまれると患部がはれて痛み、毒が全身に回った場合には発汗や吐き気、頭痛などの症状が出る場合があります。

オーストラリアで1950年代に抗毒血清ができてからは、死亡例はありません。



《セアカゴケグモの卵》

セアカゴケグモの卵は極めて小さいもので、“卵のう”^{らん}という袋に納められています。

ひとつの“卵のう”には100匹前後の卵が入っており、1匹が1回で3～5個の“卵のう”を産みます。

溝のふたに産み付けられた例
写真では4個の“卵のう”

（主な生息場所）

屋外ブロック、プランター、庭石や墓石の隙間やくぼみ、排水溝の側面、グレーチングの裏、マンホールの裏、サンダル（外履き）の中など

セアカゴケグモとその卵を見つけた時は各自での駆除をお願いします。

対処方法などについては裏面をご覧ください。

名張市役所 地域環境部 環境対策室（電話：63-7492）

素手では絶対にさわらないで ください！

セアカゴケグモは強い毒性をもっていますが、突つかれると驚いて死んだまねをするなど、攻撃性もなくおとなしいクモです。素手でさわらない限り、かまれることはありません。

《表面の写真のようなクモを見つけたら》

1. 素手でさわらないでください。

保護者の方は子どもがさわらないよう、気を付けてください。

いつも外に置いてあるサンダルなどを履くときは、クモがないかを確認してください。

2. 駆除してください。

素手でさわらず、市販の殺虫剤（ゴキブリ駆除用等のピレスロイド系）などで駆除するか、または、靴などで踏みつぶしてください。

3. クモが巣を作れない環境にしましょう。

家の周りを整理整頓、掃除することで、クモが住めないようにしましょう。

《“卵のう”を見つけたら》

- 靴などで踏みつぶす。
- 殺虫剤（ゴキブリ駆除用等のピレスロイド系）を噴射する。

などをして、^{ふか}孵化しないようにしてください。

なお、成体（メス）が近くにいることがありますので、素手で触ることは避け、軍手など厚手の手袋を着けて駆除してください。

《もし、かまれたら》

1. 患部をよく水で洗ってください。
2. 最寄りの医療機関で受診してください。そのときに可能であれば、かんだクモを持って行ってください。治療の手助けとなります。

《セアカゴケグモの巣について》

セアカゴケグモの巣は、一般的に見られるクモの巣とは形状が異なり、特徴としては次のようなものがあります。

- 溝のふたの裏など、暗所に作る。
- 枯れ葉や小枝を集めて小さな塊とする。
- 多い時には10個以上の“卵のう”が、合わせて産み付けられている。